

か も KAMOみる か お KAWO首ーる

~NEWS Letter~ 16号 2011.10

.. TOPICS ..

- * サイエンス夢追い人育成プロジェクト
- * 研究支援員制度
- * 人財バンク
- * ロールモデル講演会



サイエンス夢追い人育成プロジェクト 第4回出前講義

9月15日 女子大学院生が長良高校1年生を対象に開講

平成23年9月15日（木）に応用生物科学研究科修士課程2年の北川絵里奈さん、同修士課程1年の小森麻弥さん、教育学研究科修士課程1年の本田薫さんが、岐阜県立長良高等学校の1年生359名を対象に出前講義を実施しました。

このプロジェクトは、小中高生に身近なロールモデルとなるポスドクや女子大学院生が研究の魅力や歩んできた道を紹介することによって、「サイエンス夢追い人」＝「科学者を志す学生」を増やすこと、また、教育経験を通して、自らの研究内容や社会的意義を見つめ直すことで大学院生の研究に対する意欲向上、スキルアップを目的に始めたものです。

約50分の講義の前半では、現在の研究内容について、後半では、自らの進路選択の経緯について話しました。最初は緊張した面持ちだった大学院生ですが、時間とともに表情も和らぎ、生き生きとした様子で講義を行っていました。受講した生徒からは、「前よりも大学に行きたい気持ちが強くなった」「文理選択に役立った」「研究や実習に興味を持った」などの声が寄せられました。（詳しいアンケート結果は2ページをご覧ください。）



また、本講義の様子は平成23年9月16日付の「中日新聞」朝刊でも紹介されました。

🍀 講義を担当した大学院生の感想 🍀



健康を守るために一ラットの脂肪肝発症・抑制メカニズムの検討ー
応用生物科学研究科 修士課程2年 北川絵里奈さん

最も苦労したのは、研究内容の伝え方です。どうすれば分かりやすく、生徒さんの興味を引き付けられるかといった点で、何度もスライドや構成を練り直しました。生徒さんの感想から、講義の中でどういう点が印象に残ったかを知ることが出来たので、次回以降その内容を膨らませ、より印象に残るような講義に改善していきたいと思っています。「今できることを頑張ろう」といった前向きな感想を頂けたことがとても嬉しかったです。



私の研究生活とこれまで

応用生物科学研究科 修士課程1年 小森麻弥さん

私自身が今の研究の意義や楽しさを再認識しながら講義することができ、研究場所（ラオス）の魅力伝えることができた。高校生は真剣に話を聞いてくれて、とても楽しい雰囲気の中で講義をすることができた。数学が苦手でも理系を選択して自分の好きなことを研究しているという講義内容に大きな反響があった。進路選択の講義については対象の学年によっていつの話を持ち下げるか、よく検討する必要があると感じたので、次回の講義で活かしたい。



「理科」に魅せられた大学生活

教育学研究科 修士課程1年 本田薫さん

講義を行うにあたって、まず自分自身について振り返りました。このことによって、改めて自分自身について深く知ることができ、課題や目標も見つかりました。今回の出前講義では、120人という大勢の前で講義を行い、人の前に立って話すことの難しさややりがい、準備の大切さを実感しました。ひとつのことに納得するまで取り組むことによって、今後、現在取り組んでいる研究も粘り強く行っていきっかけができたように思います。

当日の様子

北川絵里奈さんは白衣姿で登場し、ラットを使った脂肪肝発症・抑制メカニズムの解明に向けた研究の様子や資格取得を目指して進路を選択した経緯などを話しました。

小森麻弥さんは、ラオスでの伝統農業に関する現地調査の様子を紹介した後、これまでの進路選択振り返り、「新しい出会いが新しい可能性を連れてくる」と伝えました。

本田薫さんは、現在行っている植物と昆虫、菌類の相互作用、共進化に関わる研究や理科の教材開発について紹介した後、「人との出会いの大切さ、思い出の大切さ」を実感した大学生活について話しました。

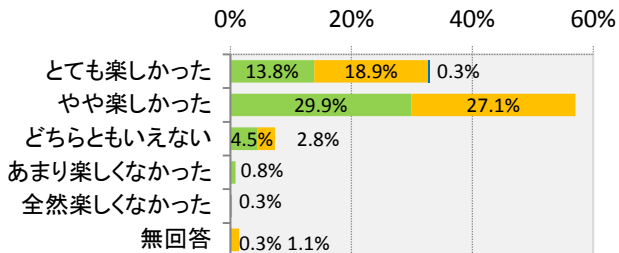
今回の講義は、それぞれの個性や魅力が十分に発揮された講義となりました。受講する高校生がメモを取りながら真剣な表情で講義に耳を傾ける姿が印象的でした。少しだけ先を歩く大学院生の等身大の言葉は、高校生を惹きつけたようです。以下に、講義実施後に行ったアンケートの結果（一部）を紹介します。

アンケート結果

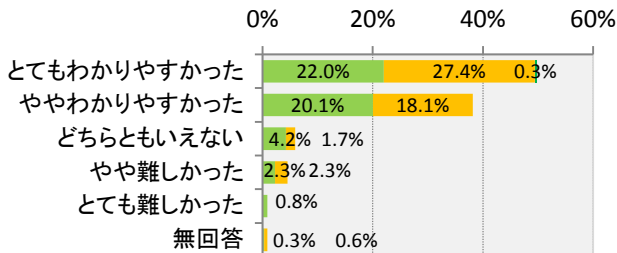
※アンケート回収数：354

■ 男 ■ 女 ■ 性別無回答

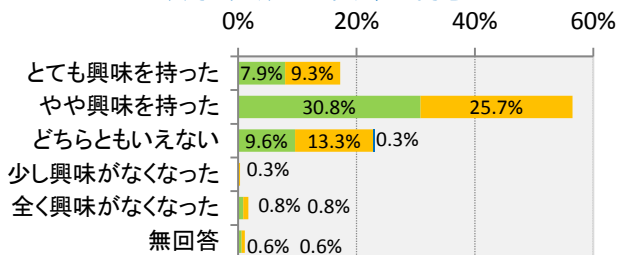
◆今日の講義はいかがでしたか？



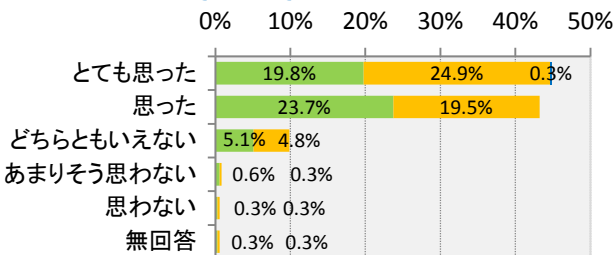
◆講義の内容はどうでしたか？



◆この講義を受けて 科学や研究に興味を持ちましたか？



◆この講義を受けて 大学に進学したいと思いましたが？



解説!

こうして講義は作られた！

講義作りは、カモミール・カフェのスタッフとともに学生が主体となり作成します。ここでは、スライド作りから当日の発表までの様子を紹介합니다。

1ヶ月前 自分を振り返る

カモミール・カフェのスタッフと一緒に、現在行っている研究とこれまでの進路選択についてディスカッションしました。ここで、研究の背景や目的などを振り返り、改めて自身の研究の意義を考え直しました。また、現在の進路をした理由やきっかけなど、進路選択の際の状況や気持ちを思い起こしました。

2週間前 全体の構成を決める

大学院生が作成した講義スライドを見ながら、どの部分を重点的にし、どの部分を削除するか、スライドの順番はどうするかなど、対象の学年に合わせた全体の構成について検討しました。ここでは、聞き手の立場に立った発表とはどんなものなのかを考えながら試行錯誤を行っていました。

1週間前 リハーサル

実際の講義と同様の形式で発表しました。ここでは他の出前講義メンバーにも見てもらい、互いに良い点、直したほうが良い点などを指摘し合いました。他者の講義を客観的に観察することで、わかりやすい講義のポイントなど実感できたようです。

前日 練習

話し方やスライドの見やすさなど細部にまでわたってチェックし、修正していました。ギリギリまで何度も練習を繰り返す姿から、彼女たちの「いい講義をしたい！」という熱意が伝わってきました。

当日 いざ本番！

今後の「サイエンス夢追い人育成プロジェクト」活動予定

日時	学校名	担当する大学院生
10月27日	済美高等学校	応用生物科学研究科修士課程2年 北川絵里奈さん
11月15日	下呂市立萩原北中学校	応用生物科学研究科修士課程2年 山口早希子さん、同1年 小森麻弥さん
11月25日	揖斐川町立春日小学校	連合農学研究科博士課程3年 吉澤樹里さん

平成23年度第2期研究補助員配置制度の利用が始まりました

10月1日から平成23年度第2期研究補助員配置制度の利用が始まりました。通算して3回目の実施となる研究補助員配置制度ですが、今期は4名の方が利用されています。今期の利用期間は平成23年10月1日から平成24年3月31日までとなっています。

本制度は利用期間終了後に利用期間中の成果を報告する実績報告書の提出を求めています。実績報告書および本制度利用者との意見交換会によると、これまでに研究補助員配置制度を利用された先生方からは、本制度の効果として、研究補助業務はもちろんのこと、とくに育児により研究に時間を向けられない際に研究を支援してくれる人がいるという精神的な支えとしての役割が大きいことが報告されています。今期の研究補助員配置制度の利用においても、有益な効果が生まれることを期待しています。



研究補助員配置制度が男性研究者も利用可能になります

これまで研究補助員配置制度は女性研究者を対象としておこなわれていましたが、今回、育児期間中にある男性研究者にも適用範囲を広げることといたしました。これは、文部科学省科学技術・学術政策局により、平成23年度からの「女性研究者研究活動支援事業」の支援対象分野および取り組みの拡大が認められたためです。

今回新たに対象となる男性研究者は、次の(1)の条件を満たしたうえで、同時に、配偶者が(2)の条件を満たす必要があります。

- (1) 配偶者が大学等の研究者である者
- (2) 小学校6年生までの子どもをもつ女性研究者（産後休暇、育児休業中を除く）

これに伴い、平成23年度第2期研究補助員配置制度の追加募集を行います。募集期間については次の記事をご覧ください。



平成23年度第2期研究補助員配置制度の追加募集

10月下旬に、平成23年度研究補助員配置制度の追加募集をおこなうこととなりました。つきましては、利用を希望される方は、男女共同参画推進室HPから「取り組み」→「研究補助員配置制度」へとお進みのうえ、詳細を確認し、申請書類を男女共同参画推進室までご提出ください。また、本募集から一定の条件を満たした男性研究者も申請可能になります。配偶者が大学等の研究者かつ妊娠または育児期間中にある男性研究者はぜひ申請をご検討ください。

応募締切：平成23年10月19日（水）～11月2日（水）

研究補助員配置制度の利用報告（応用生物科学部・山根京子 助教）

今期で通算3回目の実施となる研究補助員配置制度ですが、制度の運用から日が浅いこともあり、まだまだなじみのない方も多いのではないのでしょうか。今回は、実際に平成23年度第1期研究補助員配置制度を利用した応用生物科学部・山根京子先生にこれまで利用した感想をお寄せいただきました。

「研究補助員配置制度を利用して」（応用生物科学部・山根京子 助教）

このたびは、研究補助員制度に採択して頂き、有り難うございました。

恐らく、様々な事情を抱えながら教育、研究活動をしておられる方は少なくないのではないのでしょうか。そのなかで私はタイミングよく本制度を利用させて頂くことができ、本当に助けて頂きました。この場をおかりして御礼を申し上げたいと思います。

今回とても優秀な研究補助員の方との出会いにより、たまっていたデータを着実に論文にすることができました。もちろんこのことは大きな成果であり、ままたまならなかった研究活動を後押ししてくれました。でも、私にとりましてはそれ以上に、支えられているという精神的な面でのサポートが大きかったように思います。多くの方に支えられながら教育、研究活動が続けられているのだという実感がもてたことは、大きな力となりました。

また、本制度の目的の一つに、補助員の方のキャリアアップがあげられています。今回、新聞の折込みチラシやハローワークなどで求人募集を致しました。結果的に予想外に多くの方からご応募頂き、結婚や出産を機に家庭に入られた方で、再就職を希望されておられる方がいかに多いのかを実感した次第です。なかなかチャンスに恵まれないながらも意欲があり、かつ優秀な方がたくさんいらっしゃいます。今回の研究補助員制度が、こうした方々の社会進出のきっかけになればと心から願っております。

岐阜大学女性研究者支援のための人財バンクの運用が始まりました

岐阜大学女性研究者支援のための人財バンクは、8月から登録者の募集が始まっています。本人財バンクは、研究補助員等を求める求人者（学内研究者）からの人材照会に速やかに応じるとともに、研究を中断している女性研究者が研究補助員等としてその専門性をいかして再チャレンジできるよう支援することを目的とするものです。

現在までに、求人者から1件の照会依頼があり、人財バンク制度を利用して登録者との面談が行われました。面談では、求人者と登録者の間で雇用条件等の確認が行われ、双方の合意のもと、11月から研究支援者として働くこととなりました。本人財バンクでは、今後も随時、人財バンクの登録者および利用者を募集しています。お知り合いなどに研究補助業務に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、登録を勧めて頂きますようお願いいたします。

人財バンクでは、次のような方の登録を募集しています。

学士以上の学位を有し、実験補助・研究データ解析・統計処理・資料作成・文献調査等ができる専門的な知識と技能を有する女性（常勤的な職に就いている者は除く）

随時、登録を受け付けております。本制度の詳細は男女共同参画推進室HPから「取り組み」→「研究補助員配置制度」→「人財バンク」をご参照ください。

お知らせ掲示板

ロールモデル講演会

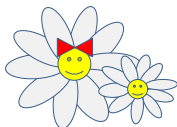
10月26日開催

一般に、女性研究者が少ない原因の一つに先輩となるロールモデルが少なく、なかなか将来像をイメージできないことがあげられます。そこで、男女共同参画推進室では、ロールモデルを提示するために、本大学出身で学内外の様々な分野で活躍する女性研究者を招き、女子学生を主な対象とした講演会を企画しました。今回の講演会では、これまでのキャリアパスや大学院で学んだことをどのように生かすことが出来るかなどについて講演をいただき、参加した女子学生が自身のキャリア形成について考える機会としたいと思います。また、進学に興味を持つ学部学生においても、女性研究者の多様なキャリアパスを聞くことにより、進路選択の一助となればと考えております。

講演会終了後、交流会を開催します。交流会では、講師の方々と直接お話しすることが出来ます。

事前申し込みは必要ありません。多くの学生の参加をお待ちしております。

自身の将来について
考えてみませんか？



岐阜大出身の先輩に聞いてみよう！
女性研究者ロールモデル講演会
(理系編)
—岐阜大出身の先輩に学ぶ—

岐阜大学出身の女性研究者3名をお招きし、どのようにして現在のポストを得たのか、学生時代の経験が現在の職場でどのように生かされているか、ワークライフバランスなどについてお話し頂きます。
先輩の経験を聞いて、自身の将来について考えてみませんか。

連合獣医学研究科出身

近藤麻実氏
北海道立総合研究機構
環境科学研究センター

—経歴—
・岐阜大学農学部獣医学科卒業
・獣医科助産科専攻
・岐阜大学大学院連合獣医学研究科入学
・同中退
・2011年1月より退職

連合創薬医療情報研究科出身

長岡久美氏
名古屋国際特許業務法人

—経歴—
・岐阜大学工学部生命工学科 卒業
・岐阜薬科大学教育助産学
・岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科
創薬科学専攻 修士(薬科学)取得
・名古屋大学 社会貢献人材育成本部
ビジネス人材育成センター研究員
(所属：名古屋国際特許業務法人)
・2010年10月より退職

工学研究科出身

加知千裕氏
東邦大学理学部講師

—経歴—
・岐阜大学大学院工学研究科応用化学専攻
博士前期課程修了
・社会法人東邦科学技術協会会幹事
・東京都立大学大学院理学部応用化学専攻
博士後期課程修了(博士号(理学)取得)
・横浜国立大学大学院国際総合科学研究科
博士研究員
・2007年4月より退職

日時：平成23年10月26日(水)
14:00～
場所：工学部棟1階106教室
***興味のある方はどなたでも参加できます。**

++プログラム++
14:00 趣旨説明
—講演—
14:05 近藤 麻実氏
14:35 長岡 久美氏
15:05 加知 千裕氏
15:35 挨拶
15:45 交流会

お問い合わせ：岐阜大学男女共同参画推進室（大学会館2階） 058-293-3397
sankaku@gifu-u.ac.jp

岐阜大学男女共同参画推進室（人事労務課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

* 男女共同参画に関するご意見・ご要望は男女共同参画推進室へお願いします。